

『一心千里』

永田 隆一

走って見えてくる



第46回

中南米にホンジュラスという国があります。1502年にコロンブスが発見したことになってお

ります。もっとも先住民がおられたわけですから、発見という単語には違和感が残ります。

1998年にハリケーンに襲われ、それ以降とも危険な国となりました。ホンジュラス政府が発表している統計値では、年間に人口10万人あたり85人の殺人の被害があるそうです。特にサンペドロスーラという町は、人口10万人あたり1518人の殺人被害で、世界最悪であります。【人口10万人あたりの

殺人】2位シウターフ・アレス(メキシコ)147人、3位マセイオ(プ

十代の少年は言った「僕は兵士だから…」 四十代の男は言った「僕は会社員だから…」

ラシル)135人、20位までは中南米。21位ニユーオリンズ(米国)57人、30位デトロイト(米国)48人。50位までは中南米がほとんどです。そこに米国と南アフリカの都市が入っております。筆者は、中国上海の役人から、中国国内の殺人事件は分かっているだけで年間10万人、と直接話

殺人の原因のマジョリティは貧困であり、政治的・宗教的・種族的対立もあります。そして、銃火器の浸透が大きく殺人を助長します。ホンジュラスでは、ラ

イフル銃が大量に出回っているそうです。アフリカのソマリアは長く無政府状態が続いており、昨

年、暫定政府が樹立されましたが、海賊の温床となっており、ソマリアであどけない10歳少しの少年が銃を担いで「僕は兵士だから戦います」と答える映像は衝撃であります。

昨今、欧米や日本で大手企業が大規模な人員削減をしております。関西のある家電大手には社員

が三十数万人いました。3年程度の間6万人減少させました。年間10万人あたり1万8750人です。先の最悪のデータと比べると、100倍以上であります。

さて、殺人とリストラの2つを比較することは、まったくのナンセンスであります。しかし、あえてリストラという手法がここまで一般的になるのであれば、企業も社員も経営・人生という観点から考え直す時機に来たように思います。

企業は、社員が外に出てもサバイブできる教育をする。社員は、外に出てもサバイブできる準備をする。

《あなたの武器は何?》
「あなたの武器は何ですか」と問われたとしましよ。そう簡単に語れる人は少ないと思います。しかし、これからは、ビジネスマンである方たちは「私の武器は○○○です」と答える準備をす

(毎月掲載)